

令和7年度 第2回亀山市図書館協議会 会議録

日 時 令和7年11月26日(水) 午後2時から午後3時40分まで

場 所 亀山市立図書館1階 多目的室

出席委員
岡野 裕行委員
井戸本 吉紀委員
井上 香代子委員
川口 恭子委員
下重 智子委員
安田 正委員
原 美津子委員
岩田 温子委員
服部 智貴委員

欠席委員 木島 史雄委員

事務局
亀山市教育委員会
教育部長 大平 守
図書館 館長 高重 京子
図書館 主幹 山川 美香
図書館 主任主査 大川 真梨子
図書館 主査 佐々木 孝英

■開会

1.あいさつ

【事務局】

令和7年度第2回亀山市図書館協議会を開催する。
本協議会は、「亀山市立図書館条例」に基づき開催する。

(資料の確認)

【事務局】

事項書に基づき、会議終了は15時30分を目途に進めさせていただく。
ここからの進行については、亀山市立図書館条例施行規則第7条第2項の規定により、岡野会長にお願いする。

2. 協議事項

(1) 「亀山市図書館サービス実施計画」計画期間の延長について

【事務局】 事務局より説明

【井戸本副会長】 市の総合計画や教育大綱、学校教育ビジョンに合わせて延長するという事は利にはなっている。それらの計画が令和9年度からスタートするのであれば、図書館のサービス実施計画に市の意向を反映させるのはもちろん、学校教育ビジョンや生涯学習計画、教育大綱にも「図書館」という単語や文章を盛り込むことができるタイミングだと思う。行政的な話だが、図書館のサービス実施計画に書いてあると言うのと、亀山市教育大綱に書いてあると言うのでは、予算獲得の際も説得力が違うので、教育委員会できちんと話をして大きな計画のほうに図書館の記載を書き込むと良い。

【事務局】 大きな計画を令和8年度に見直すということで、それに合わせて期間の延長をする。関連部署との調整をしていきたい。

【岡野会長】 前回の協議会で蔵書計画と同様に1年間の期間延長について、準備や流れを共有した。
各年度の成果指標の開架閲覧(2)の令和8年度の数値を200から250に増やすのはどういうことか。

【事務局】 この覧は、レファレンスサービスのデータベース化の成果指標を毎年50件上げであり、累積となっていたため、文言を累積件数と修正した。

【岡野会長】 積み重ねていくものなので問題はないと思う。他に意見等なければ、この提案通り進めていただければと思う。

3. 報告事項

(1) 亀山市図書館100年プロジェクト～本が育む人間力あふれた100年後の子どもたちのために～について

【事務局】 事務局より説明

【岩田委員】 児童書読み放題パックについて、これは図書館で購入するということか。パックというのがわかりにくい。

【事務局】 スマートフォンやタブレットなどで書籍を読む事ができる電子図書館に50点ずつ、計100点の読みものが存在している。令和7年11月1日に更新をしたのでお知らせをした。50点のセット物なのでパックという表現になっている。

【原委員】 多くの事業を実施する中、創作童話募集事業は、関係者は大変だが亀山市に適任の方がいるからこそ実施できるのだと思う。亀山絵本と童話の会の会員の櫻井さんが審査員として協力している。櫻井さんは、三重県の児童文学界でも有名な方で、そのような方が亀山市にいるということは有難い。会の集まりで聞いたが、10月初旬に事務局が応募作品を全部パソコンに打ち込む作業や、応募総数86作品から20作品に絞り込む作業も大変。過去に図書館と協働で3分間童話の審査をした経験があり、全作品を読んで選ぶ作業の大変さも知っている。

同じ会の会員の事でもあったので、意見をさせていただいた。

【事務局】

現在創作童話は、市で引き継いで実施している。年々応募数が増えており、1年目は24作品、2年目は59作品、3年目は86作品である。一次審査を行う時期は、当初予算要求の時期と重なる。審査員にも多大な協力をいただいております、関わっていただく方には感謝している。

【井戸本副会長】

100年プロジェクトのキックオフのところで、地域資料の収集の呼びかけとあるが、まちづくり協議会等の発行物を収集することはいいと思う。地域の民話、紙芝居大集合イベントも企画されているが、これらも地域の情報である。また学校連携で小学校の創立150周年に関する調べ学習も地域関係の学習である。これらをうまく保存すると良い。デジカメで撮っておけば、後々冊子化するなど展開することもできるだろう。展示や発表の中で保存も意識してもらえるとありがたい。増田さんの講演会では、本の販売を希望されたのではないかと。伊賀市でのイベントに参加した際は、会場出口で販売していて、もちろん買った。講演を聞くと、話の中で本を紹介されたりするので買いたくなるものである。図書館の中で本を販売することの整理ができてきているのだろうと思うが、販売した書店は、メリーゴランドだったのか。

【事務局】

販売はしていない。書店から参加者に本を勧めたいと言われたが、販売をしなくても講演を受けていただけるとの事で、販売は見送った。

【井戸本副会長】

既に実績があり、整理ができていのであれば、地元の作家コマヤスカンさんの絵本もぜひ販売すると思う。今回販売ができていないなら、整理がつかないと思うが、創作された人等の講演会では、販売の話はつきものだと思うので、何らかの形で整理しても良いのではと思う。例えば、館内販売は無理だが、外のひさしの下で販売可能とし、もし雨が降ったら外で売っていることとして配慮するのもいいと思う。講演する人も聴きにきた人もお互いメリットは多い。

12月のイベント一覧を見ての感想だが、14日の市内郵便局長が講師のイベントや亀山市 e スポーツ協会の太鼓の達人の開催は、相手側から声がかかるようになったのか、こちらから依頼をしているのか。相手側からということであれば、交通整理が大変なのだろうと思う。

【事務局】

相手側からである。駅前郵便局は、亀山駅と同様に一緒に駅前を盛り上げようと近所付き合いをしてきた。図書館の1周年記念の際は、テーマが鉄道であったため亀山駅に協力いただいた。郵便局も参画の希望をいただいております、実現となった。年賀状を書く時期に手紙ワークショップを開催する。着ぐるみの「ぼすくま」も来てくれる。

【安田委員】

地域資料の収集について、現在歴史博物館は休館中であるが、本来このような資料は歴史博物館が収集するものだと思う。地域では、高齢化が進み、空き家が増え、由緒ある家も空き家となり、蔵にある書籍などが孫の代になると価値がないと言われて捨てられてしまう時が来るのだろうと思う。図書館が役割を担っていくのか、その辺りの整理はどうなのか。歴史博物館と連携して役割分担を行

い進めてほしい。

- 【事務局】 そのような事例が実際にあり、過去の資料の寄贈希望を受けた。歴史的な資料が多く、図書館と歴史博物館の職員と一緒に資料を見て判断し、それぞれ受領した。寄贈したいと持参される資料は、状態を見て受領や蔵書登録を行っている。
- 地域の団体との共催イベントの件になるが、今後、図書館で空き家に関するイベント「空き家勉強会」の開催を計画している。
- 【井戸本副会長】 伊勢新聞に一箱本棚のイベントが掲載されたのを見たが、いい取り組みだと思う。これを活用して地域読書活動拠点等で活動を展開するというのは、関図書館にテーマの本棚を持っていくというイメージか。
- 【事務局】 これから活用について考えていく予定。まちづくり協議会やコミュニティセンター、放課後児童クラブ等の地域の拠点に訪問する際に、飾りつけをした本箱に本を数冊入れサンプルのようなものを持参し、このような見せ方をすることで本を手にとってもらえる機会が拡大するというイメージを持ってもらえるのではと考えている。10箱程度あるので、関係機関に募集をして、「〇〇まち協の本棚」というような展示を行うことも考えている。
- 【岩田委員】 拠点に持っていくのか。館内で使うのかどちらなのか。
- 【事務局】 本箱の空き状況にもよるが両方考えている。拠点や施設に持参する場合は、1カ月程度置かせていただくこともできると考えている。
- 【井戸本副会長】 コマヤスカンセットやコマヤスカンさんのおすすめの本セットなどがコマヤスカンさんの地元のまち協にあるといいと思う。
- 【岡野会長】 一箱本棚の取り組みについては、昨年度、本学の学生も「わたしの本棚をつくろう」イベントに協力し、お世話になりありがたいと思っている。木製の本棚の活用ということだが、出来上がった本棚を活用すること、本棚を作るということは別の取り組みで楽しみ方も違うと思う。本棚を創るという企画はなかなかない。また本棚を作るワークショップは開催するのか。
- 【事務局】 来年度は活用をしていきたい。将来、本箱の状態が悪くなってきたら追加することもあるのではと思っている。
- 【岩田委員】 町の本屋などで、一箱オーナーとして自分の好きな本を並べて売るといのがあるが、自分のおすすめの本を利用者が並べて、勧めることをすればいいと思う。
- 【事務局】 本箱を図書館に見立て、何冊かの本を入れて、借りられたら同じテーマの本を追加するシステムで、館長になった気分で自分の世界を表現しませんかという他館の取り組みのチラシを見た。このような取り組みができると楽しいだろうと思う。
- 【岡野会長】 一箱本棚は、図書館に見立てて貸し出すのもあれば、書店等でスペース貸しなどをしているものもあり、効果的な取り組みである。
- 【事務局】 まちづくり協議会など地域団体等の他にも、商店や企業の本棚を設ける場合は、おすすめ本とお店の宣伝などをすることで、効果的な情報発信ができる。広く展開していきたい。

- 【原委員】 伊賀市の新堂図書館には森精機の蔵書が置かれている。ワイン事業に関連したワインの本など立派な本が並んでいる。亀山市立図書館も予算での購入とは別に企業の寄附などができるといいと感じた。企業の興味のある分野の本もあろうかと思う。11月の市広報で亀山市に日本一のシェアを誇る企業があると高校生にアピールする記事を見たが、図書館も企業とのつながりがあればいいと思う。
- 【事務局】 リケンテクノスからのDVDやライオンズ文庫など、多くの寄贈を受けている。図書館の広報等で企業の周知をしている。また雑誌については、雑誌スポンサーを募集しており、スポンサー企業等の広告を雑誌の最新号のカバーに掲載し宣伝している。図書館職員は、企業等に声掛けなどを行い、関係性を築き、スポンサー企業を増やしていきたい。
- 【井上委員】 スポンサー制度については、以前からいくつかの企業よりご厚意をいただいている。また、3階のビジネス支援コーナーでは、企業の社史やパンフレット等を置いて情報発信をしている。企業との交流は旧図書館の時から商工会議所との連携など行ってきた。郵便局などご近所との関係もスタッフや館長が声掛けをしてもらった賜物だと認識している。
- 【岡野会長】 雑誌スポンサー制度も図書館ホームページに雑誌リストを掲載しており、まだスポンサーが付いていない雑誌も見ることができる。まだまだ拡大が期待できると思う。

(2) 令和7年度図書館利用者アンケートの実施について

- 【事務局】 事務局より説明
- 【井上委員】 アンケートの質問項目16番「図書館があることで、あなたの生活や仕事で助かった場面があれば教えてください」について、新図書館開館時には、皆さんに図書館を知っていただきたいという思いで、どのようなイベントを開催すればよいかなど集客に視点を置いていたが、今は認知もされてきた。この質問は非常にいいと思う。
- 【井戸本副会長】 毎回、アンケート結果を見やすく分析してもらいありがたい。毎回意見するが、図書館に来ない人の意見を聞くことも大事だと思う。一つのアイデアとして、亀山高校や亀山東小学校などで認知度調査をしてみてもどうか。先般、上野高校では自転車通学のアンケート調査を全生徒にフォーム形式で実施した。高校生はその方法でできるのではと思う。「どんなサービスを知っているか」、「通り道だけど行かないのはなぜか」、「通り道でないので、行かなかった」など。10代の解答を増やしたいということであれば、図書館に来ない10代に聞くことも手かなと思う。労力は最小限にして、検討いただければ。
- 【岡野会長】 新しい質問項目はすごく良い。様式の整理等を行い、用紙にQRコードを載せるとよい。

4.その他

【事務局】

児童書読み放題パック2025の説明

【原委員】

先ほど話した企業からの寄贈の件についてだが、ビジネスの本とか雑誌スポンサーの拡大とかを望むということが話したかったのではないので、再度意見する。新堂の図書館へ通う理由は、企業からの良質な本や絵本が置かれているから。例えば、インドの手製本絵本の出版社「タラブックス」の高価な絵本が企業の寄付で手に取れるというような環境がいいと思う。亀山市の企業でも高価な本を持っているところもあるのでと思う。亀山市でもそのような環境になればいいなと思った。

【事務局】

企業から寄贈を受ける際には、企業側の希望もあり、協議を行い、双方合意の上受領する。今後、このような意見も参考にさせていただき、合意を得ていければと思う。

【井上委員】

3階には彰仁会文庫もある。図書館では手が届かないような高価で上質な本を譲り受けている。子ども達をはじめ多くの市民に見ていただけるように配架の工夫やコーナーのPRなどを頑張っていたらいいと思う。

【川口委員】

土日に来館すると、中高生や学生がたくさんいて勉強をしている。読書にはつながってはいないだろうと思うことも多い現状であるが、2階では、全部の座席に中高生が飲み物片手に騒いでいて、ペットボトル等が放置されていることもある。交流など、そのような利用の場であると思っはいるが、小さい子どもは怖くて近寄れない状況で、スタッフも見回っているが困っている様子。簡単な縛りを設けるのは不本意だと思うが、あの状況では子どもたちが絵本を広げて読もうと思う環境ではないと感じる。解決策を考えたほうがいいと思う。

【事務局】

スタッフも職員も困っている。巡回して声かけをしたり、多目的室での学習利用の案内をしている。利用者から中学校へ連絡が入ることもある。頻繁になっており、学校では通信などで注意を呼び掛けてもらっている。その都度声かけを行い、他の利用者が不快に感じないようにと対応をしている。いいご意見があればいただきたい。

【井戸本副会長】

うれしい悲鳴だと思う。県立学校でも昼休みや放課後に図書館での飲食を可能にしたところ盛況となったが、初めの2年くらいはマナーが守られていたがものおの、3年目になると本来の意義を理解していない生徒が増え、ゴミを捨てるなど荒れてくる学校もある状況。昼休みはゴミ箱を撤去するなどして対応をしている。本を読まない生徒がたまたま来て本を手にすることもあり、人生を左右することもあるかもしれないので、来ないよりは来る方がいいと思い、続けているが課題はある。

【井上委員】

孫を連れて来た時、席が埋まっていたので、おしゃべりしている中高生に「何時になったら代わってくれる？」と尋ねたら「少ししたら代わります」と言って、その後席が空いたと呼びに来てくれたということがあった。スタッフは目を光らせるというようなイメージでの対応ではなく、困っている子どもと一緒に行って、席が空く目安

を尋ねる方法などをご検討いただくのはどうか。中高生に声掛けをするなどすると、素直に聞き入れてくれると思う。ヒントにしてもらえれば。

【岩田委員】

今日の日経新聞に名張市立図書館の江戸川乱歩に関する取り組みを紹介する記事が載っていた。亀山市でも市に関する作品の読書会などがあればいいと思う。歴史博物館とも提携すると良い。地域の民話と紙芝居のイベントを企画しているが、「加太こうじ」を紹介するなど展開もできると良い。

【事務局】

歴史博物館は、現在休館中ではあるが、可能な限り連携をしていきたい。

【安田委員】

カウンター席は、ほぼ高校生が勉強に利用している。彼らの図書館の使い方は、勉強が主で、蔵書を使って知識を身に付けようというのではない。来館の目的が偏っているのだと思うが、亀山の高校生の偏差値は上がるだろうと思う。図書館の設置により、このような成果があると示すとアピールの材料になるのではと思う。一人当たりの貸出冊数などは蔵書の使われ方としてわかるが、在席して何をしていたかなども分析すると面白いのではないかと思う。来館者数など一般的な捉え方と違った緻密な設問で、図書館の使われ方や機能を捉えてはどうかと思う。今は、分析もAIで簡単にできるとのことである。検討してはどうか。

【事務局】

アンケートは限られた枚数で設問を厳選して実施している。今後5年目などの時期などに見直しをするなどして分析ができればと思う。

【井戸本副会長】

貸出冊数の増は、数値的なものでしかなくて、読書や図書館の活動で、その人の人生に役に立ったことがあるのかというところが大事な話になる。アンケートの新しい設問は、それを拾えるかもしれない貴重な設問だと思う。1冊の本で人生が変わる人もいる。もし回答が集まらない場合は、「亀山市立図書館のいい話」をフォームで募集して、一番良かったエピソードの応募者に商品を渡すなどするのはどうか。図書館であつたいい話を集めるのはいい方法だと思う。

【岡野会長】

中高生の件は、どこの図書館でも悩ましい問題。座席利用を時間制限したり勉強のための部屋を設置したり工夫はしているが、難しい。中高生が勉強のために来るということは仕方がない。本来図書館は図書館資料を使うためというのが建前ではあるが、なかなかそこは悩ましく、みんなが快適に使えるといいと思うが。

【服部委員】

2階のフロアから高校生を減らすには、子どもの場所だとわかる雰囲気、例えば幼児向けのキャラクターを貼るなどすれば高校生は理解して来なくなる。しかし、何故ここに来ているのかを理解するのが大事なところ。行きたくて行っているのではなく、他が埋まっているからならば、その対処では意味はなく、注意書きをしたところで結果は同じになる可能性はある。その人たちはどこへ行くのかも考える必要がある。他の場所では違う問題が起こることも考えておく必要がある。

【井戸本副会長】

空き店舗の活用はできないのか。

【事務局】

店舗のオーナーは、図書館に好意的で借りることができる場合もあるが、床が整備されていない。現状、市外の高校生も新図書館の機能を気に入ってくれて、たくさん利用してくれる。たくさん利用者で座席が埋まってしまうのは、うれしい悲鳴である。中高生が2階で過ごすことの課題については、彼らの居場所がない

んだなと感じるところである。お菓子のゴミ問題も悩ましいところであるが、子どもたちにとっては放課後に友達と立ち寄る居場所である。他に居場所がないのだろうと思うと、もどかしい思いである。

【事務局】

次回協議会の開催について、来年度の夏までに、令和8年度の第1回目の協議会を開催したいと考えている。来年度は計画期間を延長した亀山市立図書館蔵書計画、亀山市図書館サービス実施計画と亀山市子どもの読書活動推進計画の改定の年になるので、年間スケジュールを立て、効率的に進めて行きたいと思っている。なお、次回の協議会までに意見徴収や連絡がある場合は、郵送等で連絡させていただく。

【閉会】